

本市職員の職場環境整備とメンタルヘルス支援について

高子 秀明



〔質問〕休日勤務や時間外労働に関しては、部局によっては大幅な差があるものと察するが、いわゆるサービス残業や代休振休未消化等が無いよう、どのような管理体制を構築しているか伺う。

〔答弁〕〔総務課長〕昨年度まで時間外勤務や休日勤務を含めた職員の勤怠管理は、集計も含めすべて紙により行なっていたが、今年度から庶務事務システム、人事・給与システムを導入した。これにより時間外勤務や休日勤務の申請・実績についても、システ

ムにおいて入力・決裁を行なっている。時間外勤務申請は原則事前申請とし、所属ごとに申請の声掛けを行い、職員の入

力状況については定期的に各所属の庶務担当が退勤時間と実績時間の差異等のエラーチェックを行い、エラーについてはその都度各所属で内容を確認し、必要に応じて修正をする体制をとっている。システムを導入しデジタル化されたことにより、職員の勤務状況が随時確認できることに加え、退勤時間の遅い職員への声かけ等、健康管理にも活用できるなど、これまで以上に管理体制を整えることができた。

〔質問〕「市民との信頼関係再構築と市民サー

ビス向上の取り組みにおいて、早期に実現することの困難さは承知している。双方を実現するにあたり、市長の見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕市役所の業務は市民の皆さまからの信頼の上に成り立っているものであり、職員一人一人が法令遵守の徹底と高い倫理観を持ち、我々は税金を使わせていただいて仕事をしているという意識を持ち続け、日々の二つの業務に対し真摯に向き合い取り組みを続けていくことが、信頼回復ひいては市民サービス向上につながるものと考えている。今回の官製談合事件で失われた市民の皆さまからの信頼を取り戻し、これまで以上に信頼される白石市役所となるよう、我々職員一同全力で取り組んでいく。

二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

地区公民館職員の待遇改善について

村上 由紀



〔質問〕現在の業務量についての見解を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕施設の維持管理、利用許可業務、社会教育法第22条の事業、当初と比較して「第6次白石市総合計画」における地域のまちづくりに関する業務の増加を認識している。人員体制について要望書をいただいていることもあり、私から市当局に検討を要請している。

〔質問〕給料制度について、賃金スライド制度導入の見解を伺う。

〔答弁〕〔副市長〕物価高騰、最低賃金の上昇等の状態が継続しており、相対的に給与水準の低下を認識している。職員は、地域や地区のために熱心に業務に邁進され、

この状態が続けば業務履行の質の低下も招きかねないと危惧し検討を始めている。

◎まちづくり連合会からの要望書について

〔質問〕地区公民館の役割の認識と今後期待すること伺う。

〔答弁〕〔教育部長〕生涯学習の場、地域活動、コミュニティ、防災の拠点として重要な役割を果たしている。人口減少、少子高齢化等社会変化に対応できる地域づくりがますます重要になると捉えており、各地区の方々が主体的に行うことが、持続可能な地域づくりには欠かせないと考え。地区公民館は引き続き、各まちづくり協議会に運営をお願いし、行政と連携協力しながら、協働のまちづくりを推進していく。

〔質問〕3回目の要望書の検討内容を伺う。

〔答弁〕〔市長〕事務局を1.5人から2人体制への見直しの要望書をいただいている。地区公民館に求められている期待は大きく、まさに地域の要である。令和8年度から実施できないか、個別の課題などご意見を伺いながら検討を進めている。

〔質問〕地区公民館の今後のあり方について見解を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕皆さまには地域づくり、地域課題解決に努力していただいていることに敬意を表したい。公民館は地域の拠点であり、社会教育施設として重要である。しかし、近年、過去とは違った課題への対応が求められ、より一層地域の特性を生かした有りがかりが求められていることを認識している。国の動向を注視するとともに、地域の皆さまのご意見を十分伺いながら、検討していかなければならないと考えている。